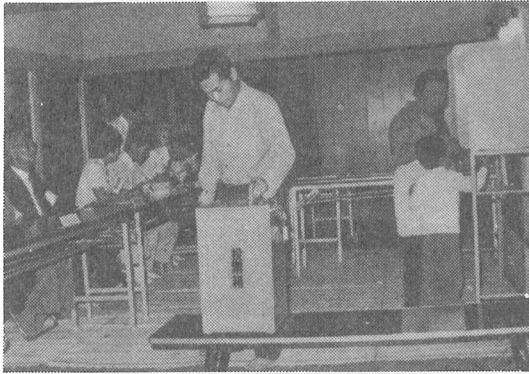


県議補選

投票率は55.43%



9月17日に行われた千葉県議会議員補欠選挙(山武郡選挙区、定員2)における町の投票率は55.43%でした。

これは郡内8町村の中で7番目、郡平均を5.32%も下回りました。

明るく住みよい町づくりは、みなさんの投する一票から始まると言っても過言ではありません。棄権せずにあなたの票をくらしに活かしてください。

なお、当町における開票結果は次のとおりでした。

小川	洋雄 (九十九里)	1,946票
藤	晴勇 (成東)	1,833票
梅	沢好一 (九十九里)	798票
鈴	木茂 (大網白里)	510票
今	関昌之 (成東)	210票
木	村恒 (千葉)	68票



赤い羽根で親しまれている国民たすけあい共同募金運動が、今年も十月一日から全国いっせいに

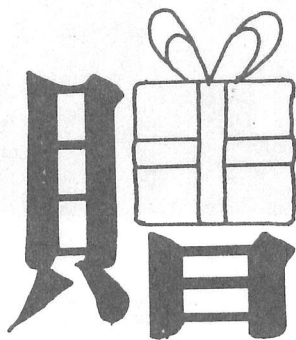
行われます。

みんなで赤い羽根を ご協力ください、共同募金運動

この運動は終戦直後、極度の荒廃にさらされた民間社会事業を立ち直らせ、発展させるために、昭和二十二年に発足したもので、民間社会事業に必要な資金を民間募金機関の手で一括募金する純粋な民間運動です。

三十一回を迎えますが、「国民たすけあいの精神」が制度創設以来一貫して流れています。昭和五十二年度においては、目標額六十九万二、七〇〇円に対して実績額七三万六、五三五円のご協力をいただきました。そしてこのお金は社会福祉施設や福祉事業に配分して活用されました。今年度の町目標額は一〇四万七〇〇円です。募金は、民間奉仕者の方々の手によって、街頭募金、戸別募金、法人募金、学校・職場募金などの方法で行われます。どうぞ、みなさんの温かい心を「赤い羽根共同募金」にお寄せ下さい。

<選挙法ひとくちメモ>



贈らない

政治家や候補者などが、お中元や寄附など金品を贈ることはルール違反です。

により行うこととしています。そして選挙が公正に行われるためにいくつかの基本原則を採用していますが、中でも重要な原則の一つに投票の秘密保持主義があります。これは、投票用紙に候補者の氏名を書いた選挙人本人以外の者は、その内容について知ることができないし、また知ろうとすることもできないようになっているものです。具体的には、①何人も選挙人の投票した被選挙人の氏名を陳述する義務はないこと、②投票記載場所は他人がその選挙人の投票の記載をみる事ができないように設備すること、③各投票所の投票を開票区ごとに混同してから開票をしなければならぬこと、などについて規定されています。

これらの投票の秘密保持主義に関する規定は、「すべて選挙における投票の秘密は、これを侵してはならない。選挙人は、その選挙に關し公的にも私的にも責任を問われない」との憲法の規定に基づくものなのです。誰に投票しても、その内容は投票した選挙人本人だけしか知り得ない方法になっていることがおわかりと思います。候補者側から「すぐわかるぞ」との話があったとしても、それはおとし以外のなものでもないのです。義理や人情にとられず自分の自由な意思で候補者を選ぶ一番正しい投票をいしましょう。次回は「選挙とお金」を掲載する予定です。